



ゲームの準備 (開店)

- ・全てのスイーツカードを裏向きのままよく切り、各プレイヤーの最初の手札として3枚ずつ配ります。手札は他のプレイヤーには見せないで下さい。残ったスイーツカードは山札として、裏向きのまま中央に置きます。その後、山札の上から5枚を、場札として表にして並べます。
- ・ティーカップカードを各プレイヤーに1枚ずつ配ります(余ったティーカップカードは使いません)。ティーカップカードは自分の脇に置きます。また、ティーカップカードは手札の枚数には含まれません。
- ・最も最近にスイーツを食べた(もしくは最も年下の)人がスタートプレイヤーとなります。それ以外のプレイヤーのプレイ順は時計回りとなります。
- ・4人プレイの場合のみ、プレイヤー4に★カードを配ります。



YGG-003J



ここは、最近人気のスイーツ店。
どれもとっても美味しいと評判ですが、
マナーにはかなりうるさいという噂も…!?
色々なスイーツを好きなだけ食べて、
おなかも心もいっぱいにしちゃいましょう!



ゲームの進め方 (営業中)

・プレイヤーは自分の番に以下の4つのアクションから一つを選んで実行し、その後、次のプレイヤーの順番となります。

- 場札のカード1枚を取る。
- 山札の一番上のカード1枚を取る。
- 2枚以上のカードを同じ枚数の場札と交換する。
- 手札のスイーツを食べる。

ゲームの目的

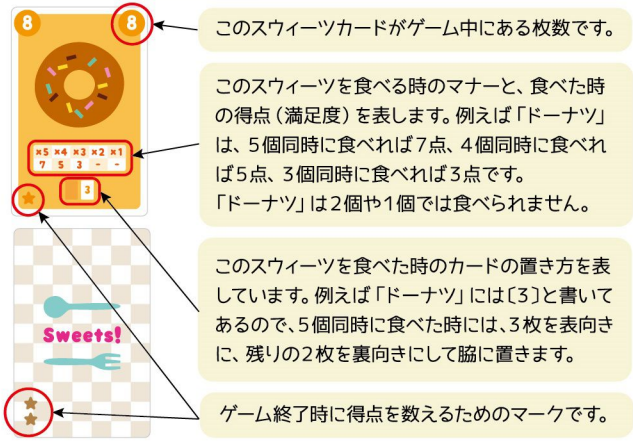
おいしいスイーツをたくさん食べておなかをいっぱいにしましょう。
ただし、ここはマナーにうるさいお店です。スイーツを食べる時には、
同じ種類のスイーツを決められた数まで食べて食べなければなりません。
また、一人が取り置きしておけるスイーツの数も決められています。
紅茶を飲んで一休みしながら、誰よりもスイーツを味わっちゃいましょう!

セット内容

- ・スイーツカード : 45枚
ビスケット × 10枚、キャンディー × 9枚、ドーナツ × 8枚
プリン × 7枚、アイスクリーム × 6枚、ケーキ × 5枚
- ・ティーカップカード : 4枚
- ・★カード : 1枚(裏面は、得点一覧表になっています。)
- ・ルール説明書(本書)



カードの見かた



A. 場札のカード1枚を取る。

場札のスイーツカードかティーカップカードの、いずれか1枚を取ることができます。スイーツカードを取る場合は、手札に加えます。ただし、**すでに手札が5枚以上ある場合には、スイーツカードを取るアクションは選べません。**ティーカップカードを取る場合は、手札には加えずに脇に置きます。ティーカップカードは、手札が何枚でも取ることができますし、2枚以上持ってもかまいません。

B. 山札の一番上のカード1枚を取る。

山札の一番上のカード1枚を、自分の手札に加えます。ただし、**すでに手札が5枚以上ある場合には、このアクションは選べません。**

C. 2枚以上のカードを同じ枚数の場札と交換する。

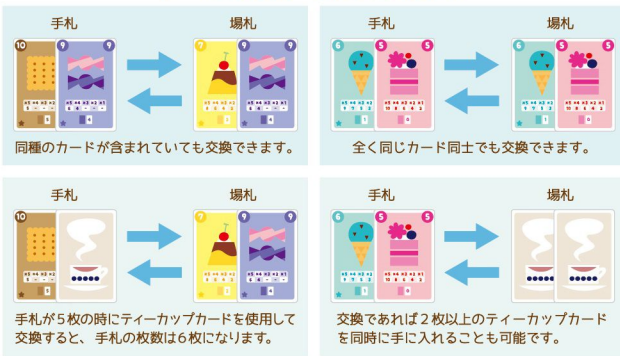
自分のカード(手札+ティーカップカード)の中から2枚以上を選び、同じ枚数の場札と交換します。場札から取るカードの中に、自分が出すカードと同じ種類のカードが何枚入っていてもかまいませんが、自分が交換用に出したカードを、そのまま取り戻すことはできません。交換で手に入れたティーカップカードは手札には加えず脇に置きます。

D. 手札のスイーツを食べる。

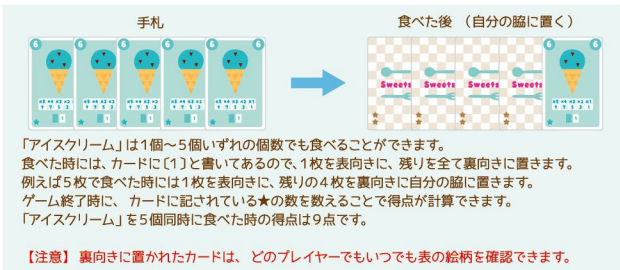
手札のスイーツカードを決められた枚数(個数)で食べて、得点(満足度)を上げます。各スイーツカードには、何枚(個)同時に食べる事が出来るのか、その枚数(個数)で食べた時には得点(満足度)がどれだけ上がるのかが書いてあります。スイーツを食べた時には、カードに書かれているカードの置き方(表向きに置く枚数)をよく確認して、指示通りに自分の脇にカードを置いてください。

・それぞれのアクションの終了後、場札が4枚になった場合には、山札の一番上から1枚カードを引いて補充し、場札を5枚にします。また、山札が無くなった場合は、「ゲームの終了(閉店)」に進みます。

カード交換の例（2枚交換の場合）



スイーツを食べた時のカードの置き方の例



ソロ（1人）プレイ

- 全てのスイーツカードをよく切り、3枚を手札に、残りを山札とします。山札から5枚を場札として並べ、ティーカップカード1枚を持ちます。残りのティーカップカードと★カードは使いません。
- 多人数プレイ時と同様に以下の4つのアクションから一つを実行します。

- 場札のカード1枚を取る。
- 山札の一番上のカード1枚を取る。
- 2枚以上のカードを同じ枚数の場札と交換する。
- 手札のスイーツを食べる。

- それぞれのアクションの終了後、場札が4枚になった場合には、山札の一番上から1枚カードを引いて補充し、場札を5枚にします。
- 山札の一番上のカードを、捨て札として山札の脇に表向きに置きます。【注意】このステップを忘れずに!!!自分のアクションが終了するたび、山札の一番上のカードが捨て札として無くなっていきます。捨て札の内容は、いつでも自由に確認してかまいません。
- まだ山札がある場合には、アクションの選択に戻ります。山札が無くなった場合には、最後に一度だけ「D. 手札のスイーツを食べる」のアクションを実行できます。その後、得点を数え、ランクが決定します。

26点以上	: Sランク
23～25点	: Aランク
20～22点	: Bランク
19点以下	: Cランク

ゲームの終了と得点計算（閉店）

- 山札が無くなった後、各プレイヤーはそれぞれ1回ずつ

D. 手札のスイーツを食べる

- のアクションのみを実行することができます。
- 全てのプレイヤーのアクションが終了したら、得点を計算します。各プレイヤーは、自分が食べたカードに記されている★の数を数え、その合計数が得点となります（表向きのカードが1点、裏向きのカードが2点です）。4人プレイの場合に最初に配られた★カードも1点として数えます。
 - 合計得点が最も高いプレイヤーの勝ちです。同点の場合は、食べたカードの枚数が多いプレイヤーの勝ちです。★カードも、食べたカード1枚分として数えます。食べたカードの枚数も同じ場合は、引き分けです。
 - ティーカップカードは得点になりません。また、食べたカードの枚数にも含まれません。

得点計算の例



YAMATO GAMES 商品紹介



ドラフトタイプカードゲーム
キャッツ・パーティー
あつちもこつちも、ねこだらけ!
同じ色のねこを集めるだけ、
という簡単なルールで、
子供も大人も一緒に遊べます。

プレイ人数：3～6人
プレイ時間：10分
対象年齢：7歳以上



デッキ構築カードゲーム
バード・オブ・ハピネス
幸せ鳥を集めて、幸せになろう!
かわいい鳥たちを集めるだけ、
という簡単なルールで、
子供も大人も一緒に遊べます。

プレイ人数：1～5人
プレイ時間：15分
対象年齢：7歳以上



プレイのこつ

- 1回の手番にできるアクションは一つだけです。今はどのカードを取るべきなのか? 交換なのか、食べるのか? よく考えて行動しましょう。
- 各スイーツカードの枚数には限りがあります。場札や食べられたカードをよく見て、それぞれのスイーツの残りカード枚数を把握しましょう。
- スイーツは、なるべく5個同時に食べましょう。しっかりと5個を揃えるためにも、ティーカップカードをうまく使しましょう。
- ゲーム終盤は、他のプレイヤーが欲しがっているカードを取ってしまうのも一つの戦略です。誰が何を欲しがっているのか、よく観察しましょう。

ルール問い合わせ先



発売元：ヤマトゲームズ
<http://www.yamatogames.com>
contact@yamatogames.com

© 2016 YAMATO GAMES / Made in Japan
Game design by Tetsuya Iida, Illustration & Design by Mika Iida

Special Thanks

Azusa Saito, Shingo Nagano, Yurika Komatsu, Ako Miyazaki, Ayuko Matsuo, Hiroshi Abiko, Shunsuke Shida, Saikorobukuro Staff, and my family, Momoka, Shunya and Yasuko.